

## 《 おおいたアクティブシニア養成講座 開講! 》

大分県では、元気な高齢者が地域を支える担い手となるための講座を開催し、必要な知識や実践力を身につけ、地域で活躍できる人材育成を目指し、今年も「おおいたアクティブシニア養成講座」を開講しました。社会参加意欲を持つ高齢者を対象に、元気な高齢者が地域を支える担い手となるために必要な知識や技術を講義や議論を通じて学び、支援を必要とする分野への橋渡しを目的とした講座です。



対象者は社会参加意欲が高い概ね60歳以上の高齢者で、今年は37名から参加申し込みがありました。講座内容は、地域の元気高齢者による健康づくり・介護予防、生活支援サービスや地域貢献活動などの事業立ち上げや運営手法等の講義、意見交換等です。例年7月頃開講しますが、今年は感染症の影響により一ヶ月遅れで始まりました。大分県総合社会福祉会館4階大ホールで令和2年8月7日(金)～

10月19日(月)の間行う予定です。

8月7日(金)の開講式・基礎講座は、受付時に検温と手指消毒を行い、講義中はマスク着用、間隔を開けて着席する、休憩中に10分間換気を行うなど感染症対策をした上、主催の大分県高齢者福祉課による行政説明と、大分大学 福祉健康科学部の川村岳人准教授の講義「少子・高齢社会における私たちの役割を考えよう」が行われました。



この基礎講座後、次回の講座から3つのテーマ別にそれぞれ2日間の講座を行います。テーマ別講座は複数受講することが可能です。感染症対策で地域のサロンや居場所が中止・縮小する中で、いまできることは何か、何をすべきか、皆さんと一緒に考えていきましょう。